



国立国会図書館 猿番場柏餅 3巻 208-628

ガラス使用



猿番場柏餅
和一九〇
二丹

208
628

大化元
七





序

近復讐之小説のせうごう 亦も行なれど楚満人しよまんじん
 此事このことに工たくまなる予も書肆しよせいの素もと又また密ひそになるを
 東あづまの著しよ者しやもといふも少すくしと虚誕きよたんと様さまへど
 事こと説せつと省しやうとして其その實情じつじやうを編へん輯しよと今いまも
 此この守まもりものも又またあること。

享和四子乃物変 十返舎一九がし







今よのまのくやれが
 且つをせんさかありと
 人々をうけてつらさの
 つまをいれけられど
 けせいのふおむれつら
 どもこの世を三百年
 づいをこれをもつて
 まけまかてまかてま
 あらうこの世をこれ
 ねえこの世をこれ
 りあやがるるるるる
 かのとひきまかひを
 両に裁きまかへお
 はまをまかへお
 んんおやんおろお
 がらうらまかてつら
 せや今よのまのく
 せや今よのまのく
 よの世のつらさを
 ねえこの世をこれ
 ねえこの世をこれ



つらさのまのくやれ
 いのけまかひまか
 のつらさをまかへお
 ねえこの世をこれ
 んんおやんおろお
 がらうらまかてつら
 せや今よのまのく
 せや今よのまのく
 よの世のつらさを
 ねえこの世をこれ
 ねえこの世をこれ







けひまやと
 つりまらふハ
 こころいあまう
 むんくもまやの
 いゆるうつけ
 ままこち付
 ろんまらば
 ろんも一んまら
 ろんまらば
 大いやくまれの
 今まらびひ
 しやんあまて
 それらうんまら
 つまらまのまら
 れひまらまら
 いまらけ

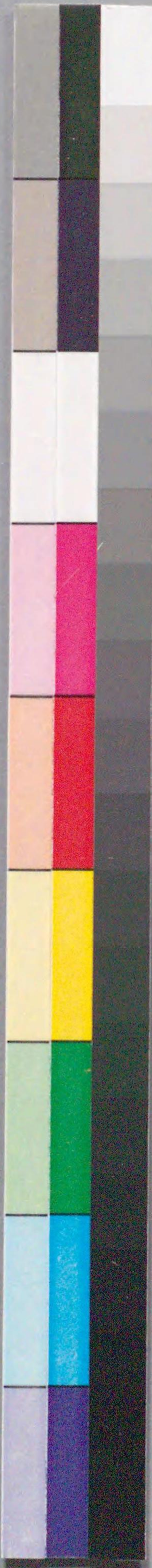
けひまやと
 つりまらふハ
 こころいあまう
 むんくもまやの
 いゆるうつけ
 ままこち付
 ろんまらば
 ろんも一んまら
 ろんまらば
 大いやくまれの
 今まらびひ
 しやんあまて
 それらうんまら
 つまらまのまら
 れひまらまら
 いまらけ

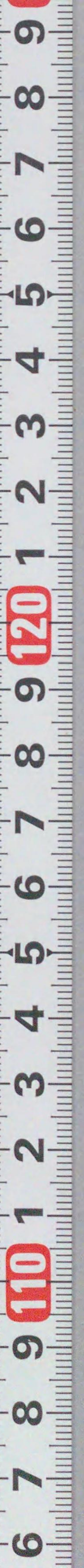
山

山

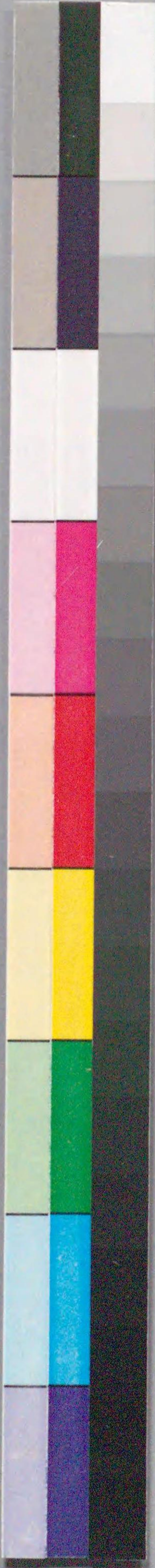
山













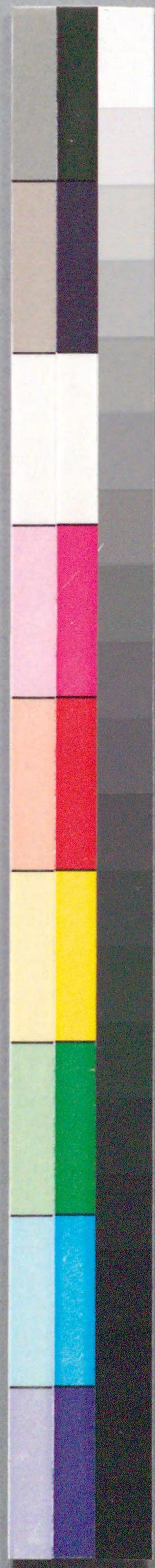




208

628

6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9



国立国会図書館 猿番場柏餅 3巻 208-628

ガラス使用